【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公開番号】特開2015-27442(P2015-27442A)
【公開日】平成27年2月12日(2015.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2015-009
【出願番号】特願2014-123784(P2014-123784)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｃ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｃ　3/00　Ｚ
Ａ４５Ｃ　3/00　Ｊ
Ａ４５Ｃ　3/00　Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成29年3月31日(2017.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
帯体が本体バッグ側面部に添って内外いずれかを一周し、側面部と直接にあるいは留め具類を用いて２箇所以上に縦向きの接合箇所を有し、その接合箇所間の下端の一箇所以上を本体バッグと接合しない底なしポケット部とすることを特徴とする、皺軽減バッグ。
【請求項２】
開口形状が矩形とみなされるバッグの、縦向きに接合箇所を設けて生じる、開口形状が本体角部に添って曲がる複数のポケット部間に、底なしポケット部を向かい合う幅広側側面部のそれぞれ一か所に有し、該底なしポケット部は本体の上端と同位の上端からほぼ下端までの帯体箇所とで成り、前記底なしポケット部が開閉機能を有することを特徴とする、請求項１記載の皺軽減バッグ。
【請求項３】
四側面部と一底面部で成る本体バッグである内部部品と、取って部とリング状の帯体で成る外部部品とを合わせ、前記側面部と前記帯体の縦向きの接合によって一体となって生じる二重カ所に底なしポケット部を有することを特徴とする、皺軽減バッグ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
帯体が本体バッグ側面部に添って内外いずれかを一周し、側面部と直接にあるいは留め具類を用いて２箇所以上に縦向きの接合箇所を有し、その接合箇所間の下端の一箇所以上を本体バッグと接合しない底なしポケット部とすることを特徴とする。